

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2009-544614(P2009-544614A)

【公表日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-520846(P2009-520846)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/155 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/155

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/14 Z

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月16日(2010.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト内在性レトロウイルス（HERV）ポリペプチドおよび薬学的に許容される担体を含む、免疫原性組成物。

【請求項2】

HERVポリペプチドが、SEQ ID NO:1～25のいずれか一つに記載のアミノ酸配列を含む、請求項1記載の免疫原性組成物。

【請求項3】

非経口的投与のために製剤化されている、請求項1記載の免疫原性組成物。

【請求項4】

粘膜組織への投与のために製剤化されている、請求項1記載の免疫原性組成物。

【請求項5】

アジュバントをさらに含む、請求項1記載の免疫原性組成物。

【請求項 6】

アジュバントが、水酸化アルミニウム、MF59、またはモノホスホリル脂質Aを含む、請求項5記載の免疫原性組成物。

【請求項 7】

ヒト内在性レトロウイルス（HERV）ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む核酸を含む、免疫原性組成物。

【請求項 8】

HERVポリペプチドが、SED ID NO:1～25のいずれか一つに記載のアミノ酸配列を含む、請求項7記載の免疫原性組成物。

【請求項 9】

非経口的投与のために製剤化されている、請求項7記載の免疫原性組成物。

【請求項 10】

粘膜組織への投与のために製剤化されている、請求項7記載の免疫原性組成物。

【請求項 11】

核酸が組換えベクターである、請求項7記載の免疫原性組成物。

【請求項 12】

組換えベクターが組換えウイルスベクターである、請求項11記載の免疫原性組成物。

【請求項 13】

個体において、病原性ウイルスに感染した宿主細胞に対するTリンパ球応答を誘導するための薬学的組成物であって、請求項1または請求項7記載の免疫原性組成物を含む、組成物。

【請求項 14】

Tリンパ球応答が、CD8+ T細胞応答またはCD4+ T細胞応答を含む、請求項13記載の組成物。

【請求項 15】

Tリンパ球応答が粘膜Tリンパ球応答を含む、請求項13記載の組成物。

【請求項 16】

病原性ウイルスがヒト免疫不全ウイルスである、請求項13記載の組成物。

【請求項 17】

個体が病原性ウイルスに感染していない、請求項13記載の組成物。

【請求項 18】

個体が病原性ウイルスに感染している、請求項13記載の組成物。

【請求項 19】

請求項1または請求項7記載の免疫原性組成物を含む、個体において、HERV発現を有しかつ癌細胞の表面上にHERVエピトープを提示している癌細胞に対するTリンパ球応答を誘導するための薬学的組成物。

【請求項 20】

単離されたヒト内在性レトロウイルス（HERV）ポリペプチド。

【請求項 21】

単離されたヒト内在性レトロウイルス（HERV）ポリペプチドを含む組成物。

【請求項 22】

無刺激のCD8+ T細胞の集団を抗原提示プラットフォームと関連するHERVペプチドとインビトロで接触させる段階を含む、ヒト内在性レトロウイルス（HERV）ペプチドに特異的なCD8+ T細胞の集団を生成する方法であって、該接触させる段階がHERVペプチド特異的CD8+ T細胞の集団の産生を提供する、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、単離されたHERVポリペプチド；および、HERVポリペプチドを含む、免疫原性組成物を含む組成物を提供する。本発明は、HERVポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む核酸を含む免疫原性組成物を提供する。免疫原性組成物は、レンチウイルスペプチドに対するT細胞免疫応答を刺激するために有用である。本発明はさらに、個体においてレトロウイルスまたはレンチウイルス感染細胞に対する免疫応答を刺激する方法を提供する。本発明はさらに、HERVポリペプチドを発現する癌を処置する方法を提供する。また、HERVポリペプチドに対する免疫応答を減少させる段階を含む、障害を処置する方法も提供される。

[請求項101]

ヒト内在性レトロウイルス(HERV)ポリペプチドおよび薬学的に許容される担体を含む、免疫原性組成物。

[請求項102]

HERVポリペプチドが、SEQ ID NO:1~25のいずれか一つに記載のアミノ酸配列を含む、請求項101記載の免疫原性組成物。

[請求項103]

非経口的投与のために製剤化されている、請求項101記載の免疫原性組成物。

[請求項104]

粘膜組織への投与のために製剤化されている、請求項101記載の免疫原性組成物。

[請求項105]

アジュバントをさらに含む、請求項101記載の免疫原性組成物。

[請求項106]

アジュバントが、水酸化アルミニウム、MF59、またはモノホスホリル脂質Aを含む、請求項105記載の免疫原性組成物。

[請求項107]

ヒト内在性レトロウイルス(HERV)ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む核酸を含む、免疫原性組成物。

[請求項108]

HERVポリペプチドが、SEQ ID NO:1~25のいずれか一つに記載のアミノ酸配列を含む、請求項107記載の免疫原性組成物。

[請求項109]

非経口的投与のために製剤化されている、請求項107記載の免疫原性組成物。

[請求項110]

粘膜組織への投与のために製剤化されている、請求項107記載の免疫原性組成物。

[請求項111]

核酸が組換えベクターである、請求項107記載の免疫原性組成物。

[請求項112]

組換えベクターが組換えウイルスベクターである、請求項111記載の免疫原性組成物。

[請求項113]

個体において、病原性ウイルスに感染した宿主細胞に対するTリンパ球応答を誘導する方法であって、請求項101または請求項107記載の免疫原性組成物を個体に投与する段階を含む、方法。

[請求項114]

Tリンパ球応答が、CD8⁺ T細胞応答またはCD4⁺ T細胞応答を含む、請求項113記載の方法。

[請求項115]

Tリンパ球応答が粘膜Tリンパ球応答を含む、請求項113記載の方法。

[請求項116]

病原性ウイルスがヒト免疫不全ウイルスである、請求項113記載の方法。

[請求項117]

個体が病原性ウイルスに感染していない、請求項113記載の方法。

[請求項118]

個体が病原性ウイルスに感染している、請求項113記載の方法。

[請求項119]

請求項101または請求項107記載の免疫原性組成物を個体に投与する段階を含む、個体において、HERV発現を有しかつ癌細胞の表面上にHERVエピトープを提示している癌細胞に対するTリンパ球応答を誘導する方法。

[請求項120]

単離されたヒト内在性レトロウイルス(HERV)ポリペプチド。

[請求項121]

単離されたヒト内在性レトロウイルス(HERV)ポリペプチドを含む組成物。

[請求項122]

無刺激のCD8⁺ T細胞の集団を抗原提示プラットフォームと関連するHERVペプチドとインビトロで接触させる段階を含む、ヒト内在性レトロウイルス(HERV)ペプチドに特異的なCD8⁺ T細胞の集団を生成する方法であって、該接触させる段階がHERVペプチド特異的CD8⁺ T細胞の集団の産生を提供する、方法。